

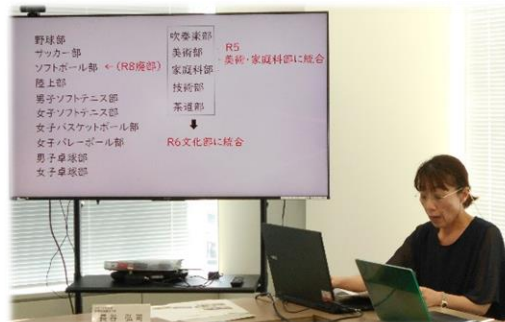
紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行 推進協議会

令和6年9月20日（金）に、第2回紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行推進協議会を実施しました。

植田会長より全国の動向報告



粉河中学校長より実践報告



貴志川中学校長より実践報告



全体協議の様子



【拠点校における実践事例の発表と提案】

拠点校部活動を先行実施しているモデル校2校の校長より、部活動指導員制度を導入することにより「スポーツが好き、楽しい」と思える子供達が増えたことや、顧問教員の「業務負担が軽減された」という声などが報告されました。一方で、部活動指導員の仕事の都合により、指導日や時間が限定的であることなどが課題として挙げられました。現状の課題を解決する方策としては、平日は現状どおりとし、休日を地域の指導者をお願いする体制ができれば、生徒が好きな競技を専門的に指導してもらえないのではないかという提案がなされました。また、子供たちがやりたいと希望する文化・スポーツ活動ができるように、地域の大人が紀の川市の子供達のために考え動ける体制を、学校と地域、行政が連携して構築することが必要であることが提案されました。

【主な協議事項】

○検討すべき課題、今後の方向性について

協議会の中では、『人材確保・活動資金・活動場所』の3つの課題や、『地域の受け皿』について、地域と子供のかかわり方について等、今後の方向性も含めた活発な意見交換が行われました。

次回（第3回推進協議会）は、部活動指導員の派遣を拠点校モデル2校と連携し、中心的に活動していただいている『あっぱれプロジェクト』の上田代表より、部活動指導員の確保や派遣に関する事例報告をしていただき、その成果と課題、今後の方向性等を協議する予定となっています。